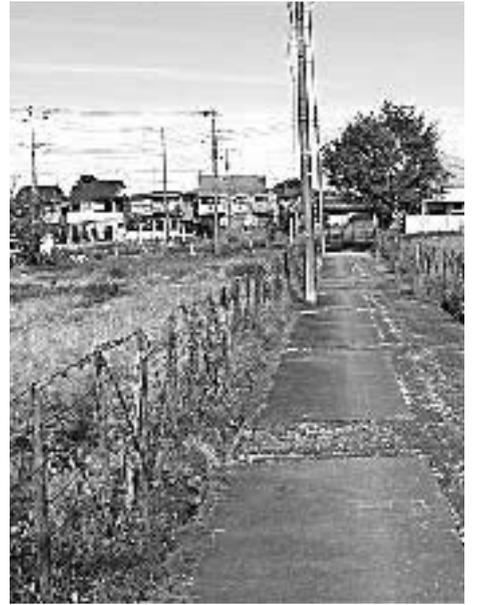


一般質問(5) 予算の審査から



しらし窪都営住宅跡地(新町1丁目)

オンリーワンのまちづくりと
防災関係・しらし窪跡地対策は

中山 寛子(自民西)

政策的に何を指してオンリーワンのまちづくりか、市民には見えてこないが、マニフェストでは一人一人が輝き、お互いに支え合い、世界に発信力を持つ西東京市とした。地場産業や産学との連携を図り、地域の資源や個性を有効活用して魅力ある町を目指す。

【質問】 防災の観点から、避難勧告、避難指示の違いは、

【答弁】 勧告は土地や建物に災害が発生するおそれがある場合立ち退きを促すが強制力はない。指示は被害の危険が切迫したときに発せられ、勧告より拘束力が強い。近年では不発弾処理の際の勧告が3例ある。障害

就任して2年 政権公約で約束した
行財政改革の更なる推進を!

保谷 育彦(自民西)

【質問】 財政健全化への取り組みは、

【答弁】 内部管理コストの削減、保育園等民間委託の推進、公共施設を検証するための施設白書の検討、受益者負担の適正化を進めた。今後も行財政改革の具体的な

な進捗管理に努めていく。

【質問】 事務事業の経常経費と人件費の見直しは、

【答弁】 行政評価というツールを通じて事務事業の総点検を行い、市の裁量の余地のあるものを対象に見直しを行った。今後予算編成や

子供のいじめ・虐待をなくそう
田無駅南口駅前広場計画は

海老沢 進(自民西)

【質問】 最近、いじめ、児童虐待が連日報道されているが、子供に権利のみを教え、義務(いいこと悪いこと、自殺など絶対悪いこと等)をきちんと教えず、また、家庭より女性の個人自由優先の風潮が我が子の虐待に向かわせていないか。

【答弁】 いじめはいつでも起きるとの前提で、小さな意地悪からの拡大を防ぎ、保護者や関係機関と連携し対処する。児童虐待は増加傾向にあり、支援センター、虐待防止協議会で相談受付

【質問】 田無駅南口整備は、都の事業計画で今後10年間で優先整備をすると発表さ

【答弁】 交通安全、環境整備のため駐輪場案内や計画的撤去などを実施しているが、夜間の対応は不十分であり市民啓発などを今後も進めていきたい。

総合計画(基本構想・基本計画)
実施計画の成果と今後の方針を問う

鈴木 久幸(自民西)

【質問】 平成16年度から10年間の総合計画のうち、平成21年度からの後期基本計画を見直すとしている。現状の成果、今後の方針を伺う。

【答弁】 野外活動の活性化や地域における青少年活動団体指導者の育成を図るとしているが、成果と今後の取り組みは、

【質問】 子育て支援計画に基

【答弁】 子育て支援計画に基

【質問】 施設の整理統合は、

【答弁】 厳しい財政状況が続く中、環境変化に対応のため将来を見据えた公共施設のあり方の検討が重要課題。活用検討委員会が整理統合や移転等について検討する。総合計画の見直しは、基本計画は社会経済情勢の変化や、評価市民二

れ、地元では歓迎している計画につき市の見解は、

【答弁】 駅前広場未整備は他に2カ所あり、現在ひばりヶ丘駅北口の整備を進めている。田無駅は今後地元の意向を踏まえて事業化に向けた検討を進めていきたい。



子ども家庭支援センターのどか(コール田無3階)

【質問】 高齢者の生きがいづくりの充実について、みどりの空間の創出について、災害に強いまちづくりについて、健全な自治体経営の推進について、成果と今後の取り組みについて伺う。

【答弁】 健全で持続可能な自治体の経営が大前提である。合併直後から行財政改革の取り組みを進めている。健全な自治体が確立されて、初めて新たなまちづくりに取り組むことができる。

オンリーワンのまちづくりを
再び問う

遠藤 源太郎(自民西)

【質問】 「オンリーワンのまちづくり」は、響きがいいが、あいまいである。武蔵野市等にまざると劣らない町にするなら、ナンパワンのまちづくりを目指すべきではないか。

【答弁】 何かきらりと光るものがある町にしたい。

【質問】 お年寄りが元気でいつまでも活躍できる町には知識や技術を地域社会で発揮できる仕組みづくりをせよ。敬老事業の見直しは、社会貢献してきた老人たちを軽んずることではないか。

【答弁】 高齢者の社会参加と元気づくりを努力する。

【質問】 剪定枝チップ化のモデル事業を見直すと言いが、

予算の審査から

平成18年度補正予算の主な審査内容についてお知らせします。

一般会計補正予算
【説明】 議案第118号、損害賠償の額の決定についてにより提案した公用車清掃車による人身事故に伴う損害賠償等を行うため、歳入歳出の総額にそれぞれ2千652万9千円を追加し、それぞれ591億167万2千円とするもの。昭和62年12月15日午後1時55分ごろ東久留米市内の交差点において帰庁途中の清掃車と当時8歳の歩行者が接触したもので、症状固定まで長期化し、後遺症障害等級の認定等に時間を要したことなどにより、相手方との示談交渉がまとまるまで19年もの期間がかかった。

【主な質疑項目】
・清掃車の委託が進んでおり、

委託先民間車両による事故があると思うが、市との関係はどのようになっているのか。また、仮にすべて民間委託になると、こうした報告はなくなるかと考えているのか。委託先の事故を報告する義務を明記すべきだ。

・後遺障害賠償8級の場合の補償額の基準は、
・清掃車以外の公用車の運転業務に対する対応は、事故後の対応ばかりではなく、防止のための取り組みを強化すべきだ。

・飲酒後、一定時間の睡眠をとっても検出されることがある。乗務前検査などは行っているのか。また、そうした対応を考えているのか。
【結果】 賛成全員で可決



「ウキウキクッキング」(児童館主催事業)